

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	各国語文献読解（日本文学選択）

問題 左に掲げる資料A・Bは、夏目漱石のある同一作品の原稿の一部である。これについて後の問に答えなさい。なお、解答は指定された解答用紙に縦書きで記入し、どの問に対する解答であるのかがはっきりわかるように、それぞれの解答の最初に問題番号を明記して下さい。

資料A

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	各国語文献読解（日本文学選択）

資料B

問一 資料A・Bをそれぞれ翻字しなさい。

(※原稿の書き手による加筆部分も翻字すること。塗りつぶし等による削除部分は、翻字しなくてよい。)

問二 傍線部①と②の人物の関係性に関して、次の(1)・(2)について答えなさい。

- (1) 資料Aの部分の中から読み取れることを、根拠をあげつつ説明しなさい。
- (2) この作品全体の内容をふまえて、二人の関係性についてさらに説明しなさい。

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	各国語文献読解（日本文学選択）

問三 傍線部③の末尾では、カギカッコ閉じ（」）を塗りつぶして句点（。）を加筆したと推定される。何故そのようなことをしたと考えられるか。傍線部③の言葉が作品全体の中で持つ意味も含めて説明しなさい。

問四 この作品は一九一四（大正三）年に、東西の『朝日新聞』で連載された。この時期の日本の文壇状況について、この作品の作者のことも含めて具体的に説明しなさい。

以上